

7月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		9,463	前年並み	8,908	108	88	87	2	0	北海道は前年並み。青森は生育順調も作付減によりやや減。上旬は道内の産地の切り替わりや青森産の作付減もあり、入荷量は薄くなる。下旬は北海道の入荷量が増加してくる見込み。総入荷量は入荷量の多かった前年並み。価格は前年を下回るが平年を上回る見込み。
ねぎ		3,833	やや上回る	3,946	418	84	324	8	0	茨城産は微増、生育は順調であるが雨少なく中心の出荷となる見通し。千葉産はやや増、前年高単価だったため若干作付増と前進傾向となっている。埼玉産は微増で生育良好の見通し。下旬から東北産の入荷が始まる。学校給食が休みになるため引き合いは弱まる見通し。総入荷量は前年をやや上回るが平年並み。価格は前年を下回るが平年よりは高い見込み。
きゅうり		7,327	やや上回る	7,667	268	82	249	408	6	福島産は若干増、生育順調で露地の最盛期。岩手産は若干増、下旬より出荷最盛期となる。秋田産はやや多く、上旬はハウス、中下旬は露地の最盛期となる。宮城産もやや多いがハウス終盤のため下旬にかけて減少する見通し。上旬は、福島産のハウスから露地への切り替えによる端境、中下旬は各産地入荷量増となる見込み。総入荷量は前年を上回るが平年並み。価格は前年より安く、平年よりも安い。
なす		3,398	前年並み	3,569	385	95	344	5	0	西南暖地は平年に比べて切り上がり及早まる。関東産は前年並み、垂目不足でやや出遅れとなる見通し。上中旬は産地切り替わりで入荷量は薄い。下旬は栃木・群馬産が増加する見込み。総入荷量は少なかった前年並み。価格は前年より若干安いが見込みが平年より若干高い。
トマト		8,898	前年並み	8,529	297	101	318	489	5	青森産は4月下旬の突風による植え直しで微減。北海道産は前年並みの見込み。上中旬は西南暖地の切り上がり及早い分、販売は堅調に推移する。下旬は青森など東北産の入荷量が増加する見込み。総入荷量は多かった前年並み、価格は前年並みだが平年より若干安い見通し。
ピーマン		1,885	前年並み	1,939	412	83	354	1	0	茨城産が前進傾向で前年並み。岩手産は低温で生育が鈍り前年並み。福島産は生育順調の見通し。上旬は茨城産の前進と東北・北海道産の遅れで入荷量は薄い。中下旬東北・北海道産が増加してくる見込み。総入荷量は前年並み、価格は前年を下回り、平年よりも安い見通し。